For the Next

アシタのたかはま研究所からの研究レポート⑥

『アシタのたかはま研究所からの研究レポート』では、さまざまなデータから高浜市の現状や将来の姿についてお伝えしていますが、今回はアシタのたかはま研究所で策定を進めている「しあわせづくり計画」の取組みを紹介します。

10年先の未来をみんなで考えていく

コミュニティには、自治会や町内会といった「地縁型コミュニティ」とFacebookやサークルといった同じ興味で集まる「テーマ型コミュニティ」があります。近年、働く場所と住む場所が違ってきており、どちらか一方だけのコミュニティのあり方という考えは難しくなってきています。これらふたつのコミュニティをあわせた形がまちを面白くします。まちを変える方法はふたつあります。ひとつは「まち自体を変える」方法。例えば、物理的に図書館や公民館などをつくること、これにはお金や時間がかかります。もうひとつは「まちの見方を変える」方法。今まで普通だと思っていたことの見方を変えることで魅力になったり、みんなで取り組むことでまちへの関わり方を変えたりすることができます。

自分ができることや楽しいと思えるアイデアを、仲間を見つけて自ら実行していくことで、まちの見方や友だち関係が変わっていき、高浜市の新たな可能性を発見することができると思います。みんなでいっしょに地域をよくしていくということを考え、福祉という言葉に込められた「しあわせ」や「ゆたかさ」にあふれる高浜市になるように、10年先の未来はみんなで考えていく必要があります。

（第１回ワークショップ　山崎亮氏講演内容より）

≪しあわせづくりワークショップ 開催中≫

第１回…参加者の身近なしあわせから、まちでの楽しみ方を考えるアイデアを出しあいました。
第２回…身近な困りごとを、近くにいる誰かができることと掛けあわせて解決策を考えました。
第３回…自分ができることを、もっと面白くて必要とされるものにするためのアイデアを出しあいました。

これから高浜市をよりよくしていくには、アイデアを考える人や活動する人、活動に興味をもってくれるようなたくさんの仲間を増やしていく必要があります。ちょっとでも興味がある方は、連絡してください！

≪しあわせづくりワークショップの開催状況は、市公式ホームページで公開しています。≫

問合せ先　アシタのたかはま研究所（団総合政策グループ内）　☎52-1111（内線332）